

2年に1度開かれる大会ながら、毎日決められた時は、南極各地を船で移動し、間内に走った距離で順位を

争った。中継地のアルゼンチンで

水に当たり、大会2日目まで下痢に悩まされた。南極は初夏とはいえ気温は氷点下2〜7度と低く、強風が

いことだつてあるが、思い切りチャレンジする楽しさを、今後もいろんな場面で伝えたい」と前を向いた。

極寒の154キロ 5日間走破



5日間走り終え、日の丸を掲げる岩元みささん
—2024年12月、南極(本人提供)

走る冒険家・岩元みささん、昨年11月南極マラソン出場

世界各地のウルトラマラソンに挑戦する「走る冒険家」岩元みささん(31)は鹿児島市西田2丁目。昨年11月29日から5日間、南極マラソンに出場した。初夏でも氷点下の大陸を舞台に、アシダントに見舞われながらも154キロを走り抜き「多くの方々の支援で実現できた。今は感謝の気持ちでいっぱい」と雪焼けの残る笑顔で振り返った。

に覆われており、レース当初は慣れない雪とも闘った。足が雪に埋まったり、滑ったりの連続。誰よりも転びながら進んだという。順位は参加53人中22位。目標の200キロ走破には届かなかったが「目の前のことに全力を出し切るのと、何度転んでもすぐに立ち上がり、また走りだすことの大切さを実感した」と振り返った。

12月28日に鹿児島市で開いた報告会で、次の目標に掲げたのは、2026年6月に南米ペルーで開かれるアマゾン・ジャングルマラソン。「時にうまくいかないことだつてあるが、思い切りチャレンジする楽しさを、今後もいろんな場面で伝えたい」と前を向いた。

鹿児島市で報告会 「支援に感謝」

【問1】 「走る冒険家」の岩元みささんは、昨年11月29日から5日間、南極マラソンに参加しました。5日間で、何キロ走りましたか。

(154) キロ

【問2】 南極マラソンは、どのようにして、順位を争いますか。

(南極各地)を(船)で移動しながら、毎日(決められた時間内に走った)距離で順位を争った。

【問3】 岩元さんが、南極マラソンに出場したとき、南極は、どのような様子でしたか。

南極は初夏とはいえ気温は(氷点下2〜7)度と低く、(強風)が吹きつけた。地面は(雪)と(氷)に覆われており、レース当初は慣れない雪とも闘った。

【問4】 12月28日に開いた報告会で、岩元さんはどのようなことを述べましたか。

時にうまくいかないことだつてあるが、思い切りチャレンジする楽しさを、今後もいろんな場面で伝えたい

【書きましよう】 あなたが、今年チャレンジしてみたいことを書きましよう。

むずかしい漢字とことば

挑戦(ちょう・せん) 冒険家(ぼう・けん・か) 舞台(ぶ・たい)=(ここでは)腕前を見せる場所 見舞(み・ま)われる=よくないものごとにおそわれる 抜(ぬ)き 支援(し・えん) 実現(じつ・げん) 感謝(かん・しゃ) 振(ふ)り返(かえ)った=(ここでは)今までのことを思い出してみること 移動(い・どう) 中継地(ちゅう・けい・ち) 下痢(げ・り) 悩(なや)まされ 吹(ふ)きつけ 覆(おお)われ 慣(な)れ 闘(たた)かった 埋(う)まった 滑(すべ)った 誰(だれ) 走破(そう・は)=長い距離を走り通すこと 届(とど)く 報告(ほう・こく) 掲(かか)げた

